

アインシュタインの脳

アインシュタインの脳

アインシュタインの脳は誰が持っている

遠い地平線の向こうまで

張り巡らされたこの大地で

アインシュタインの脳は誰が持っている

人に言われた思考で

永遠にはびこることのない世界で

アインシュタインの脳

水槽の中で塩漬け

金魚のようにパクパク

ポンプの気泡とともに

アインシュタインの脳

とどまることのない人間の叡智と思考と野望

絶望の中の君へ

絶望の中の君へ

君と出会ったのはもう何年前だろう

僕は確かに憶えている

オカリナを持って笑っていたのを

絶望の中の君へ

僕は声を掛けることもできない

君がそんなに悩んでいたなんて

絶望の中の君へ

でも君は少しずつ歩き出した

窓際の席で走り出した電車の風を浴びて

涼しそうにする

太陽のもとの

降り注ぐ太陽のもと

もとの

もとの

もとの

約束の日に

そして

そして

そして

次の朝

君はいなくなってしまった

太陽のもとの

もとの

もとの

英気を養って

心を豊かにして

太陽のもとの

もとの

もどで

シンデレラ

12時になればあの子は帰ってしまうまさにシンデレラ

ドレス着て

ハイヒール履いて

これから始まる

舞踏会

まぼろしの中

いつか

永遠に誓った

約束

ここにいたその事が夢の中だと知るその前に

幻影だったと思い知らされるその前に

12時になればあの子は帰ってしまうまさにシンデレラ

髪を束ねて
口紅つけて
飛び出そう
新しい世界へ

招待状

狼だつて

後押ししてくれる

希望なのは僅かに残った君の匂い

幻だったのは君の静かな微笑み

12時になればあの子は帰ってしまうまさにシンデレラ

バッグ持って

哀しみ背負って

さあ行こう

夢が叶う

汚い現実へ

瞬

瞬は小学六年生

もうすぐ中学受験

これからまつすぐ家に帰って勉強だ

それなのに

僕を惑わすことがたくさんある

どこかからとてもいい匂い

出来立てのホクホクの男爵コロツケが…

誘惑に

負けそう

こたつに入って微分積分の勉強

AがこうでBがこう

でも…

どうしても考えてしまう

隣のクラスの絵理ちゃんは一体誰が好きなんだろう

どうしても考えてしまう

受験も無事合格

クラスは絵理ちゃんと同じ

これから一体どんな学園生活が始まるんだろう

考えるだけでニヤニヤしてしまう

どんな学園生活が始まるんだろう

神秘の途中

億千万の星

我はまだ神秘の途中

限らない無数のイメージと言葉たちが

押し寄せてくる波のように

我はまだ神秘の途中

やってくる無理難題

ひとつづつクリアして

旅に出よう

いくつもの旅に

やってきた敵は強物

この崖を乗り越えねば勝つことは出来ない

それは意外と簡単かもしれないし

何年もかかってしまうかもしれない

億千万の星

そして我まだ神秘の途中

限らない無数のイメージと言葉たちが

押し寄せてくる波のように